



学校だより

やまゆり

2026年7月号

令和8年6月30日

横浜市立大口台小学校

神奈川区大口仲町460

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/oguchidai/>

学校からのお知らせを学校HPで日々発信しています(担当:副校長)

学びのはじまりは「へえ～」から

副校長 川島 和祐

梅雨のジメジメした日が続く中でも、子どもたちは元気に学校生活を送っています。私はつい空模様に関心が左右されがちですが、子どもたちはさすがです。そんな子どもたちが過ごす毎日の中には、「オォー」や「へえ～」と感じる体験がたくさんあふれています。

6月16日から17日にかけて、4年生は1泊2日で七沢宿泊体験学習に行きました。天候にも恵まれ、自然の風のおかげで、暑さもそれほど感じない2日間となりました。クラフト体験では、バーナーで木をあぶり、七沢の木材を使った写真立てを作りました。はじめは恐る恐るバーナーを扱っていましたが、安全な使い方を理解し、楽しく活動することができました。思い切って火を近づけた瞬間に「オォ！」という小さな歓声も聞こえてきました。また、宮ヶ瀬ダムの見学では、毎秒30トンの水が勢いよく放水される観光放流の様子や、ダム湖の広さに驚く姿が見られました。中には、水とエネルギー館で、ダム湖の下に旧宮ヶ瀬村があることを知り、何度もダム湖を見つめる子どももいました。

日々の学習や生活の中にも、こうした「オォー」や「へえ～」があふれています。例えば、校庭で見つけた生き物の様子に驚いたり、理科の学習で自然のしくみを知って感心したり、友だちの意見を聞いて新しい考え方に気付いたり、その内容はさまざまです。これらの気付きは、学びの出発点となる大切な力です。単に知識を覚えるだけでなく、「なぜだろう」「もっと知りたい」と考えることで、学びはより深まり、主体的な学習へとつながっていきます。また、一人の気付きが学級全体で共有されることで、さらに新たな発見や学びが生まれていきます。本校の学校教育目標は「わくわくトライ大口台」です。子ども一人ひとりの「気付き」を大切に授業や児童指導を日々行っています。小さな発見を積み重ねながら、それぞれの学びを深めているところです。

まもなく夏休みを迎えます。子どもたちはこれまでの学びを振り返りながら、自分の成長を実感する期間となることでしょう。学校を離れた生活の中でも、多くの「オォー」や「へえ～」を見つけ、探究してほしいと願っています。安全や体調管理に気を付け、充実した夏休みを過ごしてほしいと思います。

ちなみに、私自身、小学校教員になって初めてモンシロチョウの卵やカブトムシの幼虫を見たり、触れたりしました。四半世紀ほど前のことですが、子どもたちと一緒に感動した記憶があります。年を重ねた今も、その気持ちを大切にしていきたいと改めて感じています。

ぐっちこサポーターの皆様、ありがとうございます

本校では、「ぐっちこサポーター」の皆さまに、さまざまな場面で子どもたちの学習を支えていただいております。昨年度は、家庭科(調理実習・ミシン)や図工(彫刻刀など)、また遠足の引率補助などにおいて、子どもたちの活動を温かく見守っていただきました。今年度は、体力テストや交通安全教室の補助をしていただいております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

工事のお知らせ

夏休みから校内設備の改善を目的として、次の通り工事を行います。工事期間中は、ご不便やご心配をおかけする場合もあるかと存じますが、子どもの安全確保を最優先に対応いたしますので、どうぞご理解とご協力をお願い申し上げます。

【内容】(7月より) 体育館屋根防水・4階教室天井断熱工事・東トイレドライ化・
西側校舎窓サッシ・給食室空調

(12月より) 体育館空調・LED化